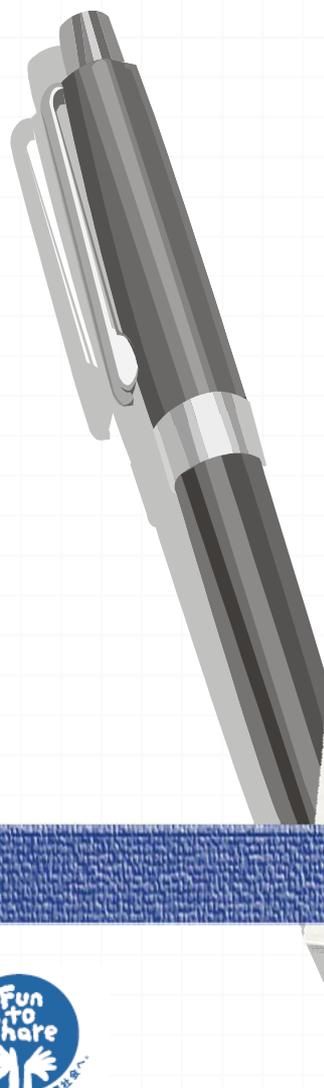


# ENERGY FRONTIER JOURNAL

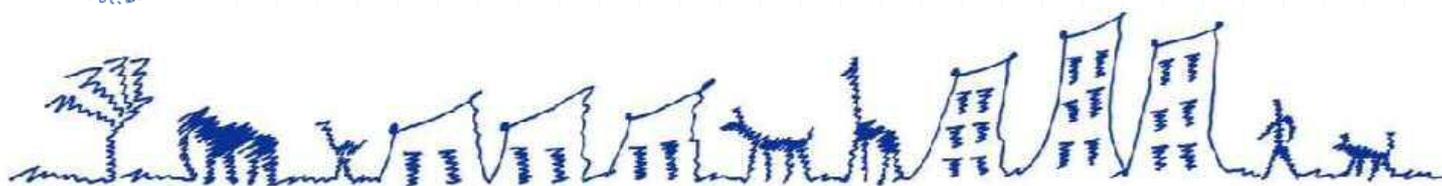


## エネルギーフロンティア ジャーナル 2020年 春号 目次



- 時事解説  
コロナ後の世界と気候変動への関わり
- エネルギーフロンティアの事業紹介  
2020年度 補助金公募開始情報
- エネルギーフロンティアのひとり言  
何気ない日常の大切さ
- イベント情報  
今後の補正予算補助金情報 ほか

VOL.40



# コロナ後の世界と気候変動への関わり

皆さま、コロナウィルスの影響による自粛生活が続いておりますが、体調など崩れていないでしょうか？とにかく1日でも早く日常が戻ってくることが待ち望まれます。本号では、**コロナ後の世界**について、**気候変動との関わり**を考えてみたいと思います。

## エネルギー需要との関わり

**国際エネルギー機関 (IEA)** は、4月30日世界におけるエネルギー見通しの報告を発表しました。新型コロナウイルス感染拡大により、2020年の**エネルギー需要が6%減少すると予測**され、現在、世界で3番目にエネルギー消費が多いインドのエネルギー需要全体の減少に相当する量とのことです。



出展：環境省様資料

日本においても、コロナの影響前に、**2018年度の温室効果ガス排出量**の確定値が、12億4,000万トンとなり、排出量が算定された**1990年度実績を初めて下回っていた**ことが報告されておりました。そして、今回の**コロナウィルスの影響**により、航空などの交通機関やホテル・工場など大規模事業所の休業等により、更に電気やガスなどの**エネルギー需要が減少**していることが予測されます。但し、今後、通常稼働に復帰した後も、皆さま**慎重に温室効果ガス排出量への影響**を見極めていくことが重要です。

## 「見えない危機」との関わり

地球温暖化に伴う**気候変動、気候危機**に関しては、過去から**リスクが警鐘**されてきたにも関わらず、現在に**深刻な影響を及ぼしている現実**があります。温暖化が進むと、デング熱やマラリアなどの**感染症拡大への影響**も指摘されています。この度の**新型コロナウイルス**に関して、**過去のウィルスの経験や知見**を人類が活かしかねず、**世界的なパンデミックに繋がってしまった現実**があります。原因の究明はこれからですが、人間以外の**野生生物を媒介して感染した可能性**も指摘されています。その意味では、「**見えない危機**」にどう向き合っていくか、どの様な行動を起こしていくか、**気候危機への対応とウィルスとの共生**には**類似点**が感じられ、教訓を学ぶことが多そうです。

## 経済復興と持続可能な世界の実現との関わり

東日本大震災のときは、福島第二原発事故も伴ったため、**大規模集中型の電源システムや原子力発電の在り方**など、復興支援のなかで日本の**エネルギー政策を方向転換**するきっかけとなりました。そして、**再生可能エネルギーの普及拡大**や**石炭火力発電への逆風**など、世界的なトレンドに、日本のエネルギー政策も舵を切りつつあります。

**1970年4月22日**から開催されている、世界で**地球のことを考えて行動**する記念日「**アースデイ**」は、今年予定されていた**50周年**の大規模な集会在、**コロナウィルスの影響**により「**世界最大のオンライン気候会議**」に形を変えて実施されました。「**新型コロナウイルスのまん延**には、人間による**環境破壊が深く関連**している。」ことが指摘され「**今後の経済復興への投資を再生可能エネルギー等にも振り向ける**ことにより、**持続可能な世界の実現**につなげることが出来る。」ことが表明されました。我々も、次世代のため、**歴史的な転換点をプラスの力に変えていく勇気**を持ちたいものです。

# 2020年度 補助金公募開始情報

各省庁様からの補助金事業の公募が開始される時期になりました。いち早く、皆さまにお伝えしますので、是非とも、補助金ご活用をご検討いただければ、と思います。

## 環境省様「先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減設備補助事業」(ASSET事業)

先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業  
【令和2年度予算(案) 3,300百万円(3,700百万円)】

工場・事業場等における先進的な低炭素機器等の設備更新を支援します。

1. 事業目的

- 排出量の増加が顕著である業務部門と最大排出部門となっている産業部門における排出量の大規模削減
- 先進的な設備導入支援及び費用効率性向上を促す仕組みの確立
- 更なる排出量削減に取り組む事業者の裾野拡大
- 国内排出量取引制度の検討にあたっての検証

2. 事業内容

- 先進的な低炭素技術(L2-Tech(※1)認証製品)等への設備更新および運用改善等によりCO2の大幅削減目標を掲げ達成を約束した事業者に対し費用の一部を補助。
  - (※1)Leading and Low-Carbon Technology
  - L2-Tech認証製品の導入比率は製品価格ベースで50%以上
  - 運用改善等による削減目標は、削減目標全体の10%以上
  - ガイドライン(※2)に沿ったCO2削減計画立案結果の報告
  - 削減目標未達の場合は参加事業者間でCO2排出枠を取引(※2)ASSETモニタリング最高ガイドライン
- 事業運営に必要なシステムの運用・保守、CO2排出量測定報告書の査読・取りまとめ等

3. 事業スキーム

- 事業形態 ①間接補助事業(補助率1/2以内)、②委託事業
- 補助対象 民間事業者・団体
- 実施期間 平成24年度～令和2年度

最終年度

お問い合わせ先：環境省地球環境局地球温暖化対策課中核メカニクス室 電話：03-5521-8354 FAX：03-3580-1382

※公募期間：5/8(金)～6/16(火)  
※予算額：33億円

＜昨年度事業からの変更点など＞

- ✓ 補助率1/2の「L2-Tech認証製品」のうち、一部の設備は補助率1/3に変更されました(LEDは除外されました)。
- ✓ 新たに「投資回収3年以上」の要件が追加されました。
- ✓ 自主的対策と運用改善によるCO2排出削減目標量は、事業所全体の削減率10%を上限として評価されます。

出典：環境省様 予算資料

EFの事業紹介

環境省様(今年度の執行団体は一般社団法人温室効果ガス審査協会様)が実施されている省工ネ補助金の事業です。今年度で第9期目の事業となり、最終年度の予定です。環境大臣認定の「L2-Tech認証製品」を50%以上含めることが要件となっていますが、比較的、汎用性の高い一部の「設備・機器等」(PACエアコンの一部、ガス式給湯設備等)は、従来の補助率1/2から1/3に変更されました。新たに「投資回収3年以上」の要件も追加されました。予算も昨年度より若干減額され、採択率の激化が想定されます。

## 環境省様「設備の高効率化改修支援事業」(4事業メニューあり)

※公募期間：5/7(木)～6/10(水)  
※予算額：7.16億円

＜設備の高効率化改修による省CO2促進事業＞

- ✓ 業務系施設を対象に、設備への部品交換・付加する事業が要件です。
- ✓ 資本金1,000万円未満の民間企業は補助率1/2、それ以外は補助率1/3です。

＜熱利用設備の低炭素・脱炭素化による省CO2削減促進事業＞

- ✓ 民間企業を対象に、「新增設する熱利用設備」の低炭素化・脱炭素化が要件。
- ✓ 補助率は中小企業1/2、それ以外1/3。

出典：環境省様 予算資料

設備の高効率化改修支援事業  
【令和2年度予算(案) 716百万円(1,100百万円)】

設備改修、熱利用の低炭素・脱炭素化に寄与する設備導入等を支援します。

1. 事業目的

- 2030年度において、温室効果ガスを2013年度比26.0%減との中期目標に向けて、民生部門等を中心にCO2排出量削減を確実に実行する。
- そのため、熱利用をはじめとする脱炭素型社会の実現や民生部門における省エネ手法等を一般化し、普及を図ることを目指す。

2. 事業内容

- 設備の高効率化改修による省CO2促進事業  
設備のエネルギー効率の改善とCO2排出削減に寄与する部品・部材の交換・追加を支援。
- 熱利用設備の低炭素・脱炭素化による省CO2促進事業  
熱利用の低炭素・脱炭素化に寄与する設備導入を支援。
- 温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業  
温泉供給事業者等の温泉供給設備更新時の省エネ設備導入を支援。
- 中小企業等におけるPCB使用照明器具のLED化によるCO2削減促進事業  
PCB使用照明器具からLED照明器具への交換等を支援。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業(補助率1/3、1/2、2/3、定額)
- 地方公共団体・民間事業者・温泉供給事業者等
- 実施期間 事業メニュー一覧参照

お問い合わせ先：環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業課 電話：03-5521-8355 FAX：03-3580-1382

環境省様(今年度の執行団体は一般社団法人栃木県環境技術協会様)が実施されている、4事業のメニューがある補助金です。業務用施設の「設備の高効率化改修」事業では、部品の交換・不可(モータのインバータ化など)が対象です。本事業は、今年度が最終年度です。「新增設する熱利用設備」事業では、新たな熱需要に対して低炭素化・脱炭素化を図る設備が対象です。本事業は令和5年度まで継続予定で2年度事業も可能です。

今年度の補助金を活用して、省工ネ・再工ネ設備投資をご予定の皆さまには、出来る限り採択可能性を高めて頂くため、是非とも、当社との協働事業をご検討ください。

# エネルギーフロンティアのひとり言

## \*\*\* 何気ない日常の大切さ \*\*\*

この度の新型コロナウイルスの影響により、生活が一変したことで、これまで当たり前と思っていたことに気付かされることが多いと思います。春になればプロ野球が開幕して、日々、ファンの球団の勝敗に一喜一憂する生活も始まらず、延期が続いていまだに今年のシーズンの行方が見通せない状況です。東京オリンピックも1年延期が決定したものの、新型コロナウイルスの世界的な影響が収束する目途が立たないと、本当に開催を確信出来ない状況かと思えます。



日常生活でも、不要不急の外出を自粛することにより、家に滞在する時間が増えました。食品の買い物に行く頻度も時間も最小限になった結果、家の中で工夫をして食事することに知恵を絞るようになりました。冷蔵庫で長く眠っていた食材を使ったり、インスタント食品をひと工夫して料理してみるなど、再発見、新発見もあったように思います。経済の停滞により、食料自給率の重要さなど大きな問題にも気付かされる機会にもなりました。こんな時期には、家庭で小さな野菜菜園を育てて、チョットとした自給自足生活の気分を味わい、収穫した野菜をサラダで食べてみたりしても、新たな気付きがあるかも知れません。



ようやく日常に戻る一歩が見えてきたかと思いますが、何気ない日常の大切さを当たり前のことと思わず、これからの暮らしを過ごしていきたいと、思いを新たにしています。

## イベント情報

### ✓ 【※今後実施予定の補助金情報について】

- **2020年度 経済産業省様「エネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金：459.5億円」**  
執行団体である一般社団法人環境共創イニシアチブ様からの公募待ちの状況です。昨年度の「省電力」「省エネ」に分かれた事業が、今年度は「省エネ」事業に一本化される予定です。
- **2020年度補正予算 環境省様「大規模感染リスクを低減するための高機能換気設備等の導入支援事業：30億円（新規）」**  
環境省様から公表された、補正予算枠の新規の補助事業です。業務系施設に対して、換気設備など高効率機器等の導入により、新型コロナウイルス等の感染症拡大リスクを低減するとともに、CO2排出量削減を目指す事業です。補助率は中小企業2/3、それ以外は1/3の予定であり、現在、補助事業の執行団体の決定後、公募が開始されて、公募要領等、詳細内容の公表待ちの状況です。
- ✓ 青森県の日本原燃**六ヶ所再処理工場**について、**原子力規制委員会**は5月13日、**安全対策の新規基準に適合**するとの審査書案を了承しました。六ヶ所再処理工場は、日本の**核燃料リサイクル政策の中核施設**であり、1993年に着工されましたが、様々なトラブルで**大幅に完成が遅れて、建設費も大幅に膨らみ**、現在も完成に至っていない歴史があります。全国の原子力発電所から集まる**使用済み核燃料保管の問題**もあり、今後の**原子力政策の行方**が問われている状況です。



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F

TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル202

TEL : 03-6206-1245

E-Mail : [info@energyfrontier.jp](mailto:info@energyfrontier.jp) HP : <http://energyfrontier.jp/>